



S2I2024 ホストファミリーボランティア募集案内

“S2I Sunnyvale To Iizuka 2024 visit”

米国カリフォルニア州サニーバール市との姉妹都市交流事業“S2I (エス・トゥ・アイ) Sunnyvale To Iizuka 2024”のホストファミリーボランティアを募集します。今年も20名の生徒と4名の引率者、また、SSCA*スタッフ1名の合計25名が飯塚に滞在します。2024年6月14日(金)から20日(木)までの6泊7日間、サニーバールからの生徒や引率者への宿泊提供と、滞在中のサポートをしていただける方はぜひご応募ください。滞在中の予定や募集の要領は次の通りです。

*SSCAとは、Sunnyvale Sister City Association サニーバール姉妹都市協会のことです。

☆ S2I (エス・トゥ・アイ) Sunnyvale To Iizuka 2024 visit 6泊7日の予定 ☆



▲2023年 対面式の様子
19人の中高生が、5人の引率者と
共に元気に到着しました！



月日	飯塚宿泊	日程(変更になる場合もあります)
6月12日(水)	—	サニーバールから羽田へ(東京2泊)
6月14日(金)	○	飯塚着 ホストファミリーと対面式
6月15日(土)	○	週末は各ホストファミリーと過ごします。 (事前に計画をして、楽しい週末をお過ごしください。)
6月16日(日)	○	
6月17日(月)	○	市内の中学校、高等学校に登校予定
6月18日(火)	○	市内の中学校、高等学校に登校予定
6月19日(水)	○	市内の中学校、高等学校に登校予定
6月20日(木)	—	飯塚発別府。羽田経由でサニーバールへ

登校の際は、昼食の用意をお願いいたします。(給食を食べる場合もあります。)

▼いつか街道まつりに参加するサニーバール交流団

☆ 募集について ☆

次の要領で募集いたします。皆さまのご応募をお待ちしています。

募集世帯数 25世帯(原則として、飯塚市内のご家庭とします。)

募集期間 令和6年1月4日(木)~2月29日(木)

応募方法 別紙「ホストファミリーボランティア申し込み用紙」にご記入の上、国際政策課までご持参ください。(令和6年2月29日午後5時で締め切ります。)

その他 ホストファミリー決定通知の送付は、令和6年3月中旬を予定しております。

※①引率者数に合わせて受け入れ校を4校に絞るため、家族に中高生がおられるホストファミリーでも、預かったサニーバールの中高生と同じ学校に通えないことがあります。②お申し込み多数の場合は、ご家族に中学校、高等学校在学中のお子さまがおられるご家庭を優先して国際政策課とSSCAで協議の上、選考、決定いたします。③期間中、決められた時間に決められた場所までサニーバールの子どもたち(大人)を送迎していただきますが、臨機応変の対応をお願いすることもあります。④食事制限のある生徒や大人の受け入れをお願いすることもあります。以上4点ご了承の上、ご応募ください。



《申し込み先・問い合わせ先》 市役所 経済部 国際政策課へ申し込み用紙を直接ご持参ください。

〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 電話 0948-22-5500 内線 1647 (人材育成係)

飯塚市役所 6階 経済部 国際政策課

ホストファミリーボランティア体験記① (松永ファミリー)

▲Aryaa Vijayakar さん (ホームステッド高等学校) のホストファミリーです。

子どもたちの「受け入れたい！」という強い希望があったことと、今回受け入れる子が偶然にも我が子が3月にサニーベール研修でお世話になったホストファミリーのお子さんだということもあり、受け入れを決意しました。

我が家に来たアーリャは中3女子で、最初のうちはやはり緊張も見られましたが、女子中高生同士お互いすぐに打ち解けていました。

休みの日には太宰府天満宮や天神、百道浜などに出かけ、スシローで回転寿司を体験し、自宅では一緒に餃子作りや花火をしたり、お菓子やアイスを買って女子会を開催したり、我が家の普段の生活を一緒に過ごしてもらいました。滞在中も不安なことがあるときは国際政策課の担当者やホストファミリー経験者の方々から沢山のアドバイスをいただき本当に心強かったです。思い切って、「受け入れる！」と一歩を踏みだして本当に良かったと思います。



ホストファミリーボランティア体験記② (赤松ファミリー)

▲Scott Babcock さん (フリーモント高等学校) のホストファミリーです。



今回で3回目のホストファミリーでした。「Scott」と書いたボードに飾りつけをし、キャンディレイを作ってお迎えする準備期間もワクワクして楽しかったです。食べることが大好きな Scott は、天ぷら、ラーメン、寿司、焼き肉…何でも「Good!」と言ってうなずきます。太宰府では梅が枝もちを食べながら散策。リクエストのポケモンセンターやキャナルへ行き、日本のアニメ文化を楽しみました。多くのことに興味を持ち、前向きに取り組む Scott は、家にいる間のほとんどをリビングで私たちと過ごし、日本語で少し会話もできました。

始まってみるとアッという間の一週間でした。お互いやっと馴れた頃にお別れしなくてはなりません。短い間でしたが、ホストファミリーの経験は海外旅行以上の素晴らしいものだと思います。

エニータイム ホスト ファミリー
©Anytime Host Family 年間を通して「いつでもホストファミリー」の募集

サニーベール市から大人の受け入れをする AEP(アダルトエクスチェンジプログラム)など、今回の期間以外の姉妹都市交流等で、ホストファミリーのお願いをすることがあります。年間を通してホストファミリーの登録ができる方も募集します。

